

フィリピンボランティア報告

今回のボランティアの報告です。

1日目

マニラに東京、名古屋、関西合流後、パブパブくんと面識のあるミヤティ、チカちゃん、山口さん、上田さん、としえさん、きょうたろう、安井が病院に行きました。

ちょうど退院の日で、手術は成功、抜歯をして一緒に帰りました。江里子さんの話だと、今回は生まれつきの心臓の病気で手術は7~8割は成功するが2~3割は亡くなるので、本当に良かったと。実際に同じ病気の子が亡くなっていました。

お母さんやお姉さんたちはすごくウッディに感謝しておられました。そのままドミトリー（富田さんのうちの横の宿泊施設）に行き、みんなでお菓子詰めをして、就寝をしました。次の日はニワトリと犬の鳴き声が朝というか夜中ちゅう鳴いているので、みんな早くから目を覚まして朝ごはんを食べ、絆サロンに行きました。最近、絆サロンに技術を教えにきてくれているママジーンさんとも会いました。絆サロンに行き、サロンスタッフと会いました。

はじめ5人いた絆スタッフですが、いたのは3人でした。ナニン、エレナ、レイナです。

ティナは体の調子が悪いのをきっかけに来なくなり、ディーゼルは結婚をしてこなくなりました。（その結婚のためにいくつか嘘をついて絆サロンスタッフに顔お合わせるができなくなっているみたいです）



その後、千景さんと挨拶をし、皆さんの募金の目録とミズタニさんのシザーを渡しました。その後はリタイアしているティナに会いに行くのと、絆サロンスタッフの髪をやってあげる班に分かれました。絆サロンの近くの子どもや、ママジーンが連れてきたモデル、そして、日本人が来ていると噂が広まり、髪をやってほしいという人たちをカラーやカット、ネイルをしましたその後パブパブくんのお家訪問とミデル（バイク事故で身体が麻痺している男の子）のところに行ってきました



パブパブのお家はすごく綺麗にしてあり、感謝ということを知っているご両親でとてもいいお家でした。

ミデルは髪をブルーにしたいというので、カットしてブルーに、その村の人たちをカット、編み込み、ネイルをしてきました。暗くなるまでやり続けました。その後ドミトリーに帰り、食事、シャワーです。

夜に江里子さんが来て、ウッディとのボランティアのことを話し合いました。

いろいろとわかりました。3日目です。

朝起きて、まず、江里子さんのところに支援物資を届けました。昨日赤ちゃんが産まれていたのですが、少し前に帰ってしまいました。

あまりいいお母さんではなく、4人ぐらい子供を捨てているみたいです。考えられませんが…次はゴミ山です。今回はお菓子持っていったのをみんな分かっているのですが、いいゴミ？がたくさん来ているので、江里子さんが呼びかけてもなかなか来ないです。

お菓子どころではなく、生活がかかっているので、作業をやめない子達ばかりです。

初めての光景でした。

その中で小さな子が自分の兄弟をお守りしてます。

たくましい…！そして、ダニエラのところに行きました。

ダニエラは14歳

かなり、ヤンキー？ギャル？になってました。

江里子さんが「この人たち覚えてる？」と聞いても

「知らない！」と

面倒くさそうに答えてました。

妹は逆にめちゃくちゃ愛想よく近寄って来ます。性格なんでしょうね。身長が伸びていて、妹のが高かったのが、今はダニエラのが高くなっていました。

それでも、お土産に筆箱とカラフルなペンとノートを持って行きましたが、喜んでいました。

おなじ街にブーヨがいます。彼にはミニカーを持って来ました。喜んでました。

それにしても、やはり、ここが一番危ない街のような気がします。

空気が殺気立ってます。そして、最後はホテルに泊まって、汚れた身体を洗いました。バスタブは真っ黒で、足の汚れは一度シャワー浴びたくらいでは取れないくらいでした。

そして、みんなでいつもの中華料理屋で食事しました。

その時に、一也さんに絆サロンの子達も呼ぶようお願いしました。

彼女たちがこのようなレストランで食事をする事など、まず、ないです。4人の絆サロンスタッフとはびっきりのおしゃれをしてきました。かわいいです。



その中で気になったのがティナでした。彼女はお腹をこわすからと冷たいものは飲まず、食べ物もほんの少しだけしか食べなかったです。

19歳の子がこのような感じでは、過酷なフィリピンではいつか大きな病気になりそうです。



それでも、この食事の時間はとてもいい時間でした。絆サロンのスタッフを真ん中にみんなでワイワイしながら食事をして、とても楽しかったです。

彼女たちが今、お金をいくら持っているかという話になりました。

ナニンはしっかり者で500ペソ（1000円くらいです）他の3人は0円でした。

やはり、早く仕事にして、生活できるぐらいにしてあげないといけないと思いました。まとめです。

今回、ドミトリーに泊まったので、毎晩、江里子さんに話をしに来てくれるようお願いしておきました。

そのお話の中で、ずいぶんわかったことがありました。

一也さん江里子さんのウッディボランティアの大変なこと。

お金のこと。

どうしてほしいか？ということ。

今後の絆サロンスタッフなどです。

一番感じたのは、10年いや、その先も続けるには、富田さんご夫婦とコミュニケーションをしっかりとっていかないと誤解が生じてくるということでした。



ぼくたち日本にいるのとフィリピンの過酷なところにいらっしゃる方では、少しずつ感覚がズレてきます。

それをお互いが理解し合うことが今後、このボランティアを続けていくことになると思いました。

長々とありがとうございました。

ご報告でした

